

社会工学類 都市計画主専攻における 建築士受験資格取得のためのカリキュラムについて

建築士試験の受験資格は、平成30年12月8日に成立した改正建築士法により、国土交通大臣が指定する建築に関する科目（「指定科目」）を修めて卒業した者に変更されました。詳細は表1のとおりです。社会工学類の都市計画主専攻においては、表2の指定科目に対応する開設授業科目を所定の単位数以上を修得することにより、卒業後直ちに《一級／二級・木造》建築士試験を受験することができます。ただし、免許登録には、試験合格に加え建築に関する実務として国土交通省令で定めるもの（「建築実務」）の経験が《所定の年数》年以上必要になります。なお、他学類・専門学群の開設授業科目については、関連科目の自由科目として、卒業要件のためのカウントに使用できます。受験資格取得を希望する学生は、表2に掲げるカリキュラムにしたがって履修計画を立てるようにしてください。

表2に記載された本学における開設授業科目は毎年度改訂される場合があるので、掲示等に注意してください。

〔表1〕 建築士試験受験資格を得るために必要な指定科目の単位数及び免許登録に必要な実務経験年数

指定科目	一級建築士試験			二級・木造建築士試験		
	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数
①建築設計製図	7単位			3単位		
②建築計画	7単位			2単位		
③建築環境工学	2単位					
④建築設備	2単位					
⑤構造力学	4単位					
⑥建築一般構造	3単位			3単位		
⑦建築材料	2単位					
⑧建築生産	2単位					
⑨建築法規	1単位			1単位		
①～⑨の計(a)	30単位			10単位		
⑩複合・関連科目(b)	適宜			適宜		
(a) + (b)	60単位	50単位	40単位	40単位	30単位	20単位
受験資格（必要となる建築実務の経験年数）	卒業後0年			卒業後0年		
免許登録資格（必要となる建築実務の経験年数）	卒業後2年	卒業後3年	卒業後4年	卒業後0年	卒業後1年	卒業後2年

60単位を目標に
してください

最低限これくらいは
目指してください

〔表2〕理工学群社会工学類 都市計画専攻の指定科目に対応する開設授業科目

指定科目の分類		本学における開設授業科目	単位数	開設学群・学類
一級	二級・木造			
建築設計製図 (7単位以上)	建築設計製図 (3単位以上)	基本製図	1	社会工学類
		住環境計画演習 (住環境設計演習)	4	社会工学類
		設計演習Ⅰ	2	社会工学類
		施設設計演習(設計演習Ⅱ)	2	社会工学類
建築計画 (7単位以上)	建築計画, 建築環境工学 又は建築設備 (2単位以上)	空間デザイン論	2	社会工学類
		住環境計画概論	2	社会工学類
		都市計画の歴史	2	社会工学類
		建築計画論	2	芸術専門学群
		建築設計論	2	芸術専門学群
		建築通史	1	芸術専門学群
		世界建築史	2	芸術専門学群
		住宅地計画論	2	芸術専門学群
建築環境工学 (2単位以上)		建築環境工学	2	工学システム学類
		建築環境計画論	2	芸術専門学群
建築設備 (2単位以上)		建築設備	2	工学システム学類
		建築設備計画演習	2	芸術専門学群
構造力学 (4単位以上)	構造力学, 建築一般構造 又は建築材料 (3単位以上)	材料力学基礎	1	工学システム学類
		応用材料力学Ⅰ	1	工学システム学類
		応用材料力学Ⅱ	2	工学システム学類
		構造力学Ⅰ	2	工学システム学類
		構造力学Ⅱ	2	工学システム学類
		振動工学	3	工学システム学類
		土質力学	2	工学システム学類
		地盤工学	1	工学システム学類
		構造力学	2	芸術専門学群
		構造計画	2	芸術専門学群
		建築一般構造 (3単位以上)		鉄筋コンクリート構造学
防災工学	2			工学システム学類
鋼構造学	1			工学システム学類
建築構法論	2			芸術専門学群
建築構法論演習	1			芸術専門学群
建築材料 (2単位以上)		コンクリート工学	2	工学システム学類
		材料学基礎	1	工学システム学類
		応用材料学	1	工学システム学類
		複合材料学	2	工学システム学類
		建築材料論	2	芸術専門学群
建築生産 (2単位以上)	建築生産 (1単位以上)	建築経済	1	社会工学類
		建築生産	1	社会工学類

建築法規 (1単位以上)	建築法規 (1単位以上)	建築関連法規	1	社会工学類
その他 (適宜)	その他 (適宜)	現代まちづくり論	2	社会工学類
		都市計画情報演習	3	社会工学類
		都市計画原論	2	社会工学類
		都市緑地計画	2	社会工学類
		都市防災計画	2	社会工学類
		土地利用計画	2	社会工学類
		都市計画入門	1	社会工学類
		工学者のための倫理	1	工学システム学類
		ランドスケープデザイン論	2	芸術専門学群
		建築デザイン概論	1	芸術専門学群
		環境デザイン概論	1	芸術専門学群
		世界遺産学入門	1	芸術専門学群
		デザイン史概説 A	1	芸術専門学群
		デザイン史概説 B	1	芸術専門学群
		現代デザイン論	1	芸術専門学群
		都市デザイン論	2	芸術専門学群
社会のなかの建築デザイン (総合科目)	1	芸術専門学群		

2018 年度以前の入学生のための移行措置にかかる諸事項

2019 年度に全学的なカリキュラムの改編が行われ、社会工学類でも一部の科目について廃止や名称変更などが生じましたが、卒業に必要な履修科目及び修得単位数の要件は、各自の入学年度の「履修要覧」の規定が適用されます。ここでは、カリキュラム改編に伴う移行措置として、2018 年度以前の入学生のための提供科目の変更、及び、履修科目の読み替え方法に関する情報をまとめます。

1 提供科目の変更(廃止科目・名称変更科目・新規開講科目)について	39
2 読み替えについて	
(1) 専門基礎科目読替表	41
(2) 社会経済システム主専攻専門科目読替表	42
(3) 経営工学主専攻専門科目読替表	43
(4) 都市計画主専攻専門科目読替表	44
3 「開設授業科目一覧」抜粋(「社会工学類 2018 年度以前入学者対象」部分)	45